

## 故 井上晴丸教授略歴・主要著作目録

- 1908年10月7日 神戸市中山手通二丁目税関官舎で生る（本籍山口県）
- 1926年4月 第五高等学校理科甲類入学
- 1931年3月 同校卒業
- 1934年3月 東京帝国大学農学部農業経済学科卒業
- 1934年5月 農林省経済更生部嘱託産業組合課勤務
- 1938年2月 中華民国に出張，北京に駐在
- 1938年4月 北京経済専門学校講師（1941年3月まで）
- 1939年5月 興亜院技師，興亜院北京連絡部勤務
- 1941年11月 興亜院調査官
- 1942年11月 大使館技師
- 1943年2月 農林省米穀利用研究所技師
- 1943年12月 食糧管理局技師兼任
- 1946年2月 立教大学経済学部講師兼任（1959年3月まで）
- 1946年7月 農林省農政局経営課長
- 1947年9月 財団法人農業機械研究所理事兼任
- 1949年1月 第一期日本学会議会員
- 1949年9月 行政機関職員定員法により退官
- 1950年4月 農業経済学会理事
- 1952年5月 社団法人農業技術協会理事
- 1953年4月 農業発達史調査特別編集委員
- 1953年4月 東京大学農学部講師兼務
- 1959年1月 『日本農業発達史』に対し，朝日文化賞受賞
- 1959年4月 立命館大学経済学部教授
- 1959年4月 土地制度史学会理事
- 1959年12月 経済学博士
- 1963年4月 立命館大学経済学部長（1964年3月まで）
- 1964年6月 立命館大学生生活協同組合理事長（1965年3月まで）
- 1965年4月 立命館大学経済学部長（1966年3月まで）
- 1965年4月 京都平和委員会理事長（1971年3月まで）
- 1966年4月 人文科学研究所長（1967年3月まで）
- 1970年4月 図書館長（1972年3月まで）
- 1973年10月5日 急性心臓マヒのため死去

井上晴丸教授主要著作年表

|      | 時 代   | 著 作   |
|------|---|---|
| 1929 | 大恐慌開始, 長期農業恐慌起点, 3.15事件, プロレタリア科学研究所創設<br>南京国民党政府成立   |   |
| 1931 | 「満州」侵略, 瑞金ソヴェト政府  |   |
| 1932 | 東北凶作, 金輸出再禁止, 重要産業統制法<br>『日本資本主義発達史講座』刊行 (5月~翌年8月), 32年テーゼ (7月), 唯物論研究会創立 (10月), 歴史科学研究会創立 (12月), 5.15事件, 上海事件, 農山漁村経済更生運動開始, 産業組合拡充5カ年計画樹立 |   |
| 1934 | 東北凶作, 中共抗日大西遷開始, 「プロレタリア科学」弾圧により廃刊, 「経済評論」(叢文閣) 創刊  | 東北凶作は何を語るか (『智識』創刊号)<br>北海道に現われた近世的植民運動の特質 (『経済評論』創刊号)  |
| 1935 | 美濃部事件, ソーシャルダンピング, 北鉄譲渡   | 櫛田民蔵氏の二つの遺稿について (『経済評論』), 日本における産業組合の検討 (『経済評論』連載をはじめ), 日本資本主義の性格 (『進歩』)  |
| 1936 | 準戦時体制 (戦時国独資移行開始), 2.26事件, 思想犯保護監察法, いわゆる「コムアカデミー事件」, 日独防共協定, 西安事変  | 半封建的農業分壊の日本の特質に関する試論 (『経済評論』連載)   |
| 1937 | 日中戦争本格化 (盧溝橋事件), 「経済評論」10月にて廃刊, 産組拡充第2次3カ年計画樹立  | 『日本産業組合論』(叢文閣初版) 刊  |
| 1938 | 国家総動員法, 国民政府重慶移転  |   |
| 1945 | ポツダム宣言無条件受諾, 連合軍進駐, 農民解放令, 財閥解体, 戦後インフレ開始   |   |
| 1946 | 極東委員会成立, 金融緊急措置令, 強権供出, 軍需保償打ち切り, 農地改革 (第1次・第2次) 関係法, 食糧メーデー  | イギリス君主制の土台 (『読売報知』1.10), 再建日本経済綱領 (『東京新聞』2.14), 農地制度改革案論攻 (『時論』2号), 食糧対策, 民主戦線展開の目標 (『潮流』), 協同組合法案の解剖 (『読売新聞』6月21日) 等, 執筆活動はじまる。    |
| 1947 | 新物価体系, 集中排除法, 傾斜生産方式, 復金創設, 公団発足, 農業協同組合法施行<br>トルーマン・ドクトリン, 2・1ゼネスト   | 農業革命理論の純化のために (『人民戦線』), 日本農業資本主義化の問題 (『経済評論』) 等々  |
| 1948 | マーシャルプラン発表, ドレーバー賠償調査団, 経済安定9原則発表   | 『農業問題入門』初版 (農業技術協会刊), 農業進化的「二つの道」について (『社会科学』), 農民と租税 (『農業経済研究』) 等, 「戦争経済と基本構造の相克」 (『潮流』) 日本ファシズムへの抵抗線 → 国家独占資本主義研究の端緒, 民科「日本農業年報」発 |

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| <p>1949</p> | <p>ドッジ・ライン, 見返り資金特別会計設置, シャウブ税制改革<br/>中華人民共和国成立, NATO 成立<br/>国家公務員の「定員法」による最初のページ, 下山・三鷹・松川事件, 米価審議会発足</p> | <p>刊の辞<br/>『日本協同組合論—理論と史的分析—』(日本産業組合論の戦後復刊—研進社), 「農業恐慌をどうきりぬける」—農業恐慌の背後にあるもの(所収)—(月曜書房刊), 「転換する日本農政」(座談会—農業総合研究所刊)等<br/>井上・宇佐美共著『国家独占資本主義論』(潮流社刊)→翌年改訂して『危機における日本資本主義の構造』(岩波書店刊), 講和問題と学術会議(「自然」), 日本農業発達史(農業技術史をふくめて)の研究開始,(農業発達史調査会発足)<br/>新訂『農業問題入門』(青木文庫版)刊, 近代日本農業技術史研究の断想(「歴史評論」)</p> |
| <p>1950</p> | <p>朝鮮戦争開始, 言論機関のレッド・ページ, コミンフォルムの日共批判, 特需ブーム(オーバーローン開始), 予備隊創設</p>   | <p>「明治以降における農業技術の発達」共同執筆, 無署名参加(農業技術協会刊), 基地経済(「改造」), 地租改正と殖産興業(河出『日本歴史講座』), 「漁業における財政と金融」(共同執筆, 水産事情調査所)</p>   |
| <p>1951</p> | <p>単独講和(日米安保条約)調印, 経団連発足(日米経済協力具体化), 日本開発銀行, 第1次日韓会談</p>   | <p>スターリン論文「現代資本主義の基本的経済法則について」(「理論」), 供米の詐術(「改造」), ヤミ米値上りにひそむもの(「経済往来」), 『日本農業発達史』(全8巻)の第1巻刊行(中央公論社), 岩波『日本資本主義講座』5巻の編集と執筆, 世界一の食糧輸入国・日本(「中央公論」)</p>  |
| <p>1952</p> | <p>破防法・公安調査庁発足, 予備隊保安隊に改組, 血のメーデー, 完成兵器生産再開<br/>スターリン「ソ同盟における社会主義の経済的諸問題」発表(10月)</p>                       | <p>岩波『前掲講座』第6巻への執筆</p>  |
| <p>1953</p> | <p>朝鮮休戦協定, 不況, 独禁法改正(不況カルテル是認), 池田・ロバートソン会談, 内灘基地闘争, 農業機械化促進法</p>  | <p>『日本農業発達史』第8巻刊行をおわる。農地改革と民主主義革命の形態(山田盛太郎編『変革期における地代範疇』所収—岩波書店), なぜ第3次MSA輸入協定を急ぐか(「農業朝日」)</p>  |
| <p>1954</p> | <p>MSA 協定調印, 防衛庁・自衛隊発足, インドシナ休戦調印, ビキニ水爆被爆</p>   | <p>「日本資本主義構造論の再検討」を宇佐美氏とともに(「思想」連載), 世界史的過渡期における農業問題(「経済評論」)</p>  |
| <p>1955</p> | <p>日本生産性本部発足, 初の世銀借款, バンドンAA会議, ソ連科学院の「経済学教科書」出る</p>   | <p>日本農業と労働市場(「経済研究」)</p>  |
| <p>1956</p> | <p>ソ連共産党20回大会でスターリン批判<br/>神武景気, 経済白書技術革新をうたう, 第2次MSA 小麦協定</p>  | <p>日本農業と労働市場(「経済研究」)</p>  |
| <p>1957</p> | <p>岸訪米「日米新時代」</p>  | <p>日本農業と労働市場(「経済研究」)</p>  |
| <p>1958</p> | <p>世界恐慌, ドル危機の開始, 日本兵器工業会, 航空工業会発足(植村構想), 経済基盤強化資金法</p>  | <p>日本農業と労働市場(「経済研究」)</p>  |

iv 立命館経済学 (第22巻・第5・6合併号)

|      |   |  |
|------|---|--|
| 1959 | フルンチョフ訪米, ドル為替の自由化実施  | 農業生産力の特殊性について (『日本農業発達史』別巻下所収), マルクス地代論の理論的基盤  |
| 1960 | 安保改訂阻止闘争激化, 新安保強行採決, 所得倍増高度成長計画発表   | 農業技術の発展と農民 (『経済主体性講座』)   |
| 1961 | 農業基本法成立, 第2次防決定   | 「日本経済の二重構造と農業発展に関する研究」(実態調査班を組織して研究)→戦後日本の農業制度の破綻  |
| 1962 | 中ソ論争表面化, 日中LT貿易開始, 新産業都市建設法, 貿易自由化率88%に達す   |  |
| 1963 | 黒人解放闘争激化(ワシントン大行進), 資本集中進む(三菱系三重工合併), 綿紡の不況深刻化  | 「近畿型農業の発展条件に関する研究」(実態調査報告)→総括ノート, 現段階の日本農業(北京シンポジウム紙上参加論文), いわゆる「平均化原理」と「限界原理」(立命館経済学), 独占資本主義の確立(岩波『歴史講座』現代2) |
| 1964 | トンキン湾事件, IMF六条国移行, OECD加盟, 低開発国援助強化方針   | 協同組合発展の歴史的弁証法(立命館経済学)  |
| 1965 | 北ベトナム爆撃, ベトナム特需, 日韓条約批准の強行採決, 戦後最大の倒産, 農村労働組合全国連合会結成  | 高度成長・開放体制下の農業解体(『農業経済研究』)  |
| 1966 | 中国文化大革命はじまる, フランスNATO離脱, 公然たる公債政策へ  | 『現代学問のすすめ』所収—消費と生産—(雄渾社), 『現代青年に訴う』(対談)—人間と社会—(雄渾社), 国家独占資本主義についての覚え書(立命館経済学), (年末)重病にたおる, 翌年10月復帰             |
| 1967 | 佐藤訪米, 小笠原, 沖繩返還問題で共同声明, 第3次防衛生産計画発足, 資本自由化本格化, 革新統一, 美農産物知事実現, 米価ストップ方針(宮沢経済企画庁長官), 公害対策基本法 | 『社会科学への道標』所収—カール・マルクス「資本論」—(雄渾社), 土地所有制度の歴史的形態( )  |
| 1968 | 大型合併(川崎重工・航空機・車輛)進む, 学園紛争の山(東大安田講堂・中高等)   | 『戦争と経済』所収—日本経済の「成長」と軍事化—(雄渾社), 「経済軍事化と日本経済」—島氏との対談—(『経済』)  |
| 1969 | 中ソ国境問題(武力衝突), 米, 北ベトナム拡大バリ会談, 京都府知事革新藤川六選, 「新全国総合開発計画」答申, 新日鉄発足, 生産者米価据置, 日本の国際収支黒字注目されはじむ  | 小椋さんの死(『経済』), 経済学への開眼を願って(『立命館経済学会会報』)   |
| 1970 | ニクソン・ドクトリン, 米カンボジア侵攻, 総合農政(米減反), 安保条約固定期間終了, 沖繩国政参加選挙, 景気後退, 司法反動化目立つ, 公害問題激化               |  |
| 1971 | 米ラオス侵攻(失敗), 銀行合併(第一・勧銀), 繊維対米輸出規制, ドル・ショック  | 社会の生活と自然—自然の再生と社会の再産生産—(季刊「科学と思想」創刊号)  |

## 著 作 目 録

発表年次順

※印は井上晴丸著作集に収録

### 1934

※北海道に現われた

「経済評論」第1巻、第1号、9月号

日本近世的植民運動の特質(1)

※

〃

(2)

「経済評論」第1巻、第2号、10月号

※東北凶作は何を語るか

「智識」創刊号、12月号

### 1935

※前資本主義地代論の挽歌

「経済評論」第2巻、第3号、3月号

——榊田民蔵氏の二つの遺稿について——

日本における産業組合の検討

「経済評論」第2巻、第4号、4月号

——その階級構成の特質——

日本資本主義の性格

「進歩」第2巻、第6号、6月号

信用組合の半封建的性格

「経済評論」第2巻、第6号、6月号

——日本における産業組合の検討(2)——

購買・販売組合展開の契機・特質・矛盾

「経済評論」第2巻、第10号、10月号

——日本における産業組合検討(3ノ上)——

日本における産業組合の検討(完)

「経済評論」第2巻、第12号、12月号

購買・販売組合展開の契機・特質・矛盾(3ノ下)

### 1936

※半封建的農業分壊の

「経済評論」第3巻、第4号、4月号

日本的特質に関わる試論(序)

宮坂悟朗著「畜産経済地理」を読む

「経済評論」第3巻、第4号、4月号

北海道土功組合に関する研究

「農村研究」第1巻、第1号、6月号

※日本農業資本主義化の阻礙

「経済評論」第3巻、第8号、8月号

——半封建的農業分壊の特質・試論②——

### 1937

農業倉庫概要(無署名)

農林省経済更生部パンフレット 昭12.6

※日本産業組合論 初版

義文閣刊 昭12.8.20

### 1938

横浜商館貿易當時のこと

「歴史と生活」第1巻、第2号、1月号

(竣応義塾経済史学会)

北支農業対策と合作社問題

「帝国農会報」第28巻、第9号

vi 立命館経済学 (第22巻・第5・6号合併号)

1939

北支土地政策の基本的方向  
支那社会構成と北支経営

「食糧経済」第5巻, 第1号, 1月号  
「中央公論」昭14. 4月号

1940

日本産業組合論 (再版)

叢文閣刊 昭15.2.1

1942

※ 協同組合

中央公論社刊, 昭17.3.20

——支那問題辞典所収——

1944

農村工業の動向に関する一検討  
国民食糧構成の強靱性  
朝鮮米移出力の基礎的検討  
配給食糧・摂取食糧・食糧資源  
国民食糧再編成の基調

「食糧研究」第210号, 昭19.1  
「日本評論」第19巻, 第4号, 4月号  
農林省食糧研究所プリント 昭19.4  
「財政」第9巻, 第10号, 10月号  
「日本評論」第19巻, 第12号, 12月号

1945 (終戦前)

決戦と諳

「実業之日本」第48巻, 第6号,  
3月15日号

1945 (終戦後)

食糧不足はどうなるか (対談)  
小作料を金納化

「実業之日本」第48巻, 第15号, 11月号  
「読売報知新聞」昭20.10.19号

——生産者, 供出者を一体に——

1946

※イギリス君主制の土台  
※農地制度改革案論攷  
※食糧対策・民主戦線展開の目標  
※再建日本の経済綱領・「農業編」  
現代の封建主義

「読売報知新聞」昭21.1.10  
「時論」第1巻, 第2号, 2月号  
「潮流」第1巻, 第3号, 3月号  
「東京新聞」2月14日~15日号  
「われらの科学」第1巻, 第2号, 2月号

——君たちはこうして搾取されている——

だぶついた資金と労力をどう生かすか  
協同組合法案の解剖

「農業朝日」第1巻, 第6号, 6月号  
「読売新聞」昭21.6.8

※食糧問題の核心

「社会評論」第3巻, 第3号, 6月号

※日本農村の階級分化分析の一齣

「民主主義科学」第1巻, 第2号, 5月号

——所謂「兼業農家」の分析を中心とする——

農業技術浸透方策への批判  
※地主的供出制の根本的矛盾

「農業技術」第1巻, 第4号, 5月号  
「民主評論」第1巻, 第7号

- 吉田内閣の経済政策（座談会）
- ※政治と数字
- ※日本農業の進路
- 農村の封建制とは
- 農地制度はどう変わるか（座談会）
- 二年後の農村はどうなるか
- 農村工業の進路（座談会）
- ※“あひる”と農業機械化
- ※食糧はどうして出ないのか
- 農村の不安と希望
- 農地改革その後
- “Revamping of Agriculture on  
Large scale necessary”
- ※農業協同組合の二つの道  
——農業協同組合法案の批判——
- 農地改革の次に来るもの
- 1947（昭22）
- 協同組合法案を纏って（座談会）
- ・転換期の農業経営
- ※「第二次農地改革」の性格
- ※再燃労農派理論の一サンプル
- 協同化の手がかり（座談会）
- 農地制度をめぐる新しき日本農業の構想  
（座談会）
- 今年の食糧需給の見透し（上・下）
- ※労農提携の基本問題
- 共同化への具体策（座談会）
- 農業復興会議に寄せて
- ※農村文化について
- ※農業革命理論の純化のために
- 農業問題入門講座（第一回）
- ※農産物価格における封建性
- 農民よ生活を享受せよ
- 封建地代と資本主義地代  
——農業問題入門講座（第二回）——
- 「実業之日本」第49巻，第7号，7月号
- 「民主主義科学」第1巻，第3号
- 「日本評論」第21巻，第7号，7月号
- 「農業日本」第1巻，第8号，9月号
- 「富民」第18巻，第9号，9月号
- 「共同通信」
- 「農業朝日」第1巻，第10号，10月号
- 「みやこ新聞」昭21.9.29
- 「私の大学」第1巻，第5号，9月号
- 「光」第2巻，第10号，10月号
- 「時事通信」昭21.10.15（火）第284号
- Nippon Times Saturday, November.  
23. 1946
- 「前衛」第1巻，第11号
- 「新生」第2巻，第12号，12月号
- 「科学農業」第1巻，第5号，1月号
- 「富民」第19巻，第1号，1月号
- 「時論」第2巻，第1号，1月号
- 「文化新聞」昭22.1.6 No.40
- 「農業朝日」第2巻，第2号，2月号
- 「農林時報」第6巻，第1号，1月号
- 「人民しんぶん」5.22~23・No.184~185
- 「社会評論」第4巻，第2号，6月号
- 「農業朝日」第2巻，第7号，7月号
- 「共同通信」7月9日
- 「農村新聞」昭22.7.30
- 「人民戦線」第3年，第14号，8月号
- 「農業技術」第2巻，第7号，8月号
- 「地上」第1巻，第4号，8月号
- 「新農芸」第2巻，第5号，初秋号
- 「農業技術」第2巻，第9号，10月号

- 次男・三男はいかにあるべきか (座談会) 「若い農業」第2巻, 第6号, 10月号  
農業協同組合の進路 (講演) 農地改革協議会刊 昭22. 8. 10  
村の歩み (座談会) 「毎日新聞」宮城版, 昭22. 8. 27~29  
農地改革と今後の農業経営の展望 (講演) 山形県農業会農政部刊, 昭22. 9  
農村インフレの魔術 「農業問題」第2号 (季刊)  
日本農業の新途 「農大新聞」昭22. 10. 20  
農業資本主義化の二段階 「農業技術」第2巻, 第10号, 11月号  
——農業問題入門講座 (第三回) ——  
農協組は育つか 「西日本新聞」昭22. 11. 2  
農業恐慌は来るか (座談会) 「実業之日本」第50巻, 第11号, 11月号  
農業協同組合を語る (座談会) 「農村文化」第26巻, 第9号  
労農提携への道 (座談会) 「文化評論」昭22年, 第5号  
※日本農業資本主義化の問題 「経済評論」第2巻, 第8・9号, 8・9月号  
農業資本主義化の二つの道 「農業技術」第2巻, 第11号, 12月号  
——農業問題入門講座 (第四回) ——  
今後の農家経営 日本放送協会編  
——農業協同組合解説—— 「協同組合」第1巻, 第2号, 11. 12合併号  
日本農業資本主義化に関する新見解  
——農業革命の推進力——
- 1948
- 土地改革と其の後 「農業技術」第3巻, 第1号, 1月号  
——農業問題入門講座 (第五回) ——  
農産物価格はなぜ価値以下か 「地上」第2巻, 第1号, 1月号  
——高橋正雄氏の批判に答えて——  
農本主義を衝く (座談会) 「若い農業」第3巻, 第1号, 1月号  
農村工業の明暗 「農村工業の指針」〔技術新論〕特集,  
第2巻, 第5号  
※戦争経済と基本構造の相剋 「潮流」第3巻, 第1号, 1月号特集  
——戦争経済の遺産—— 「日本ファシズムへの抵抗線」  
新しき農業経営への道 (座談会) 「日本農業新聞」昭23. 1. 16. No.291  
農業近代化の基本線 「農業技術」第3巻, 第3号, 3月号  
——農業問題入門講座 (第六回) ——  
いずこクオにウチ行く 「農業技術」第3巻, 第4号, 4月号  
——農業問題入門講座 (第七回) ——  
協同組合と電化 「農業電化」第1巻, 第10号

- 現下の農家経済（座談会）  
 ——インフレ下の実態を衝く——  
 農業機械化は必然的に発展  
 ——阻止条件はどこに——
- ※日本農業年報第Ⅰ集・発刊のことば  
 封建性はどうなりつつあるか  
 課税と農民  
 農村工業の動向  
 共同化か自営強化か
- ※国の必要と農民の自由  
 農村苛税を衝く（座談会）
- ※税金と農業危機  
 ——税制近代化のために——
- ※農業進化の「二つの道」について  
 ——危機論との結合を——
- ※農地改革研究の焦点  
 農機具の現状をどう打開するか（座談会）  
 苦境にたつ農家経済  
 ——立田信夫氏に訊く——  
 農村工業と基幹工場（談）  
 村の生態を探る（現地座談会）  
 日本における国家独占資本主義の展開  
 ——戦争経済の遺産（その二）——  
 （共同執筆）  
 資本主義の体制的危機と農業恐慌の問題  
 農業問題入門
- ※新日本資本主義論争  
 （所収二篇）  
 日本における国家独占資本主義と植民地  
 ——戦争経済の遺産（その三）——  
 農業恐慌と農業危機  
 日本経済機構研究所著「日本国家独占資本主義の構造」の短評 ——三つの苦言——  
 農業恐慌をどうみたらいいか
- 「農業技術」第3巻，第4号，4月号  
 「農業機械化新聞」昭23.4.15，第3・4  
 合併号  
 月曜書房刊 昭23.5.12  
 「科学農業」第3巻，第3号，No.16  
 「西日本新聞」昭23.5.23  
 「農村工業新聞」昭23.6.25 No.1  
 「戦後農業の諸問題」所収  
 農業朝日編，朝日新聞社刊，昭23.5.15  
 「新農芸」第3巻，第8号，8月号  
 「日本農業新聞」昭23.6.26 No.323  
 「農業技術」第3巻，第8号，8月号  
 「社会科学」第18号  
 「日本読書新聞」昭23.7.21～7.28  
 No.450～451  
 「農業技術」第3巻，第8号，8月号  
 「若い農業」第3巻，第8号，8月号  
 「更生事業推進」第1巻，第7号，8月号  
 「耕人」第3巻，第3号，8・9月合併号  
 「潮流」10月号，第3巻，第10号  
 「立教大学新聞」昭23.9.25 No.53  
 農業技術協会刊 昭23.9.5  
 大学新聞連盟刊，昭23.10.20  
 「潮流」第3巻，第11号，11月号  
 「農政評論」第2巻，第12号，12月号  
 「東京民報」昭23.11.24，No.1070  
 「農村文化」第30号 昭24，2月号

x 立命館経済学 (第22巻・第5・6号合併号)

- 農村工業の将来 (談) 「農学」第2巻, 第11号 (通巻21号),  
12月号
- 国家独占資本主義をめぐって (座談会) 「社会科学」第19号
- 農業恐慌にいかにかゝるか (12.4脱稿) 「日本農業新聞」昭24.1.1 No.354
- ※農民と租税 「農業経済研究」第20巻, 第1号, 昭23.12
- 戦後の農村課税の実態について——

1949

- ※労農提携の現段階 「労働評論」第4巻, 第2号, 2月号
- 人民民主主義への道における——
- 農業恐慌論をめぐって 「農業日本」第4巻, 第1号, 1月号
- 昭和24年の農業を語る (座談会) 「農林弘報」昭24.1.1. 第20号
- 新年の食糧増産運動を語る (座談会) 「農村時報」第8巻, 第1号, 1月号
- これからの農村工業 「組合と農業」第1巻, 第3号, 4月号
- 日本農業年報第Ⅱ集 (所収) 月曜書房刊, 昭24.1.15
- 農業恐慌をどうみたらいいか 「農村文化」昭24.2月
- 農業革命について 「農業理論」, 研進社刊, 昭24.2.10
- 農地改革と農業機械化 「農機具サービス・ステーションに関する資料」農業機械化委員会刊, 昭24.2.9
- ※為替レートと日本農業 農林行政協議会刊, 昭24.3.13
- かわせレートと農民の生活 「農村文化」第33号
- 戦後経済の再編成過程 「潮流」第24年, 4月号
- ・——再編国家独占資本主義論のプロローグ——
- ※農村民主化における官僚の役割 「農業技術」第4巻, 第4号, 4月号
- 近藤博士の地力調査論を機縁として——
- 日本資本主義分析の方法論 (座談会) 「民主評論」第5巻, 第3号, 3月号
- 国家独占資本主義討議——
- 単一為替レートは農村にどう響くか 「若い農業」第4巻, 第4号
- (座談会) 資料社刊, 昭24.4.15
- 農業機械化とサービス・ステーション
- (所収) 「農業恐慌論」(所収)
- 農業恐慌と農業危機 北隆館刊, 昭24.4.30
- 地力調査 (座談会) 「農業技術」第4巻, 第5号, 5月号
- 戦後独占資本主義の補強機構 「潮流」昭24年, 6月号
- 再編国家独占資本主義論の一齣——

- 今後の農村景気と経営改善の指針  
農業恐慌が来た(講演)  
農業問題入門(再版)  
国家資本主義と人民民主主義  
※故清水弘君のこと  
——清水弘, 小沼勇共著  
「日本漁業経済発達史序説」跋文——  
※日本協同組合論(復刊)  
——理論と史的分析——  
農業恐慌の背後にあるもの  
転換する日本農政(座談会)  
米価は生産費をつぐなうか(座談会)  
米価はどう決められるか  
——井上晴丸氏に聞く——  
日本農業の進路(プリント)  
戦後日本における半封建制と独占資本  
(共同執筆)  
農業恐慌をどう切り抜ける(再版)  
※シャウブ税制改革をどうみるか  
農業恐慌と農家経営  
世界経済の変動と日本経済(座談会)  
本年農業問題の回顧  
1950  
矛盾の露頭——食確法  
押しよす食糧・迫り来る飢餓  
1950年の農業はどうなるか(座談会)  
今後の日本農業(座談会)  
※学問の自由を奪う「公職選挙法案」  
わが友を語る「深谷進氏」  
※後ろ向きの学会会議  
——日本学術会議第5回総会のルポルタージュ——
- 「富民」第21巻, 第5号, 5月号  
農業機械化協会山形県支部刊 昭24.3.1  
農業技術協会刊 昭24.5.20  
「潮流」24年, 7月号  
潮流社刊 昭24.6.20  
研進社刊 昭24.6.20  
「農業恐慌をどう切り抜ける」(所収)  
月曜書房刊 昭24.7.30  
農林省総合農業研究所刊  
共同出版社刊昭24.7.5  
「若い農業」第4巻, 第8号, 8月号  
「農業毎日」第3巻, 第9号, 9月号  
度会山田農業協同組合長会発行  
昭24.8.30  
「経済評論」昭24.10月号  
月曜書房刊 昭24.11.30  
「組合と農業」第1巻, 第10号, 11月号  
「科学農業」特集, <農家経営の危機と  
対策>・第4巻, 第34号, 24.12.1  
「世界評論」昭24.11月号  
「農業技術」第4巻, 第12号, 12月号  
潮流講座「経済学全集」栞, 第9号,  
1950, 1月  
「日本評論」第25巻, 第2号, 2月号  
「組合と農業」第2巻, 第1号, 1月号  
「農学」第4巻, 第1号, 1月号  
「大学新聞」1950.1.15. No.25  
「アカハタ」1950.1.20. No.921  
「自然」第4巻, 第5号

xii 立命館経済学 (第22巻・第5・6号合併号)

- 農業政策とこれからの農家経営 (座談会) 「若い農業」第5巻, 第2号, 2月号  
恐慌理論と崩壊理論 (座談会) 「経済評論」25年2月号  
——戦時・戦後日本資本主義の把握——  
国家独占資本主義論 (井上・宇佐美共著) 潮流社刊 1950.2.15  
貧困以下の農業政策 「農村文化」1950.第40号  
農村の三度目の苦悶 「中央公論」第65年, 第4号 (第734号)  
——希望への道はあるか—— 4月号  
日本の農業恐慌 (対談) 「新しい世界」33号, 4月号  
ゆれ動く食糧政策 (座談会) 「農業朝日」第5巻, 第6号, 6月号  
危機の農協組再建への道 (座談会) 「農業毎日」1950年8月号  
農業の話 「今日の問題の考え方24講」(所収)  
自由国民社刊  
講 和 東京大学協同組合出版部刊 1950.7.10  
——その後の日本 (序にかえて)——  
戦後の日本経済 全農林労働組合刊 7.30  
農村収奪の様相 「日本読書新聞」25.9.13. No.559  
——「疏安」書評——  
※いわゆる「経済安定」と日本農業 「農業経済研究」第22巻, 第3号, 10月  
新しい米価 「日曜信州」25.10.22, 第4号  
平和と人権 東大協同組合出版部刊 1950.11.1  
——あじあをめぐる平和の在り方 (むすび)——  
小農政策を究明 「東京大学新聞」昭25.11.16, No.64.65  
(大内力著「日本農業の財政学」書評) 合併号  
——論理の発動に問題残る——  
米価問題等に現われた農業政策の新局面 「新しい農業」第5巻, 第11号, 12月号  
変貌する農業政策 「三田新聞」1950.12.10, No.651
- 1951  
ドッジ・ライン追い込み途上の  
農業政策の変貌 「度会農協」1951.1.1. No.71  
——米価の値上・麦の統制撤廃の意味——  
※近代日本農業技術史研究の断想 「歴史評論」第5巻, 第1号, 1月  
※老農群像1「林遠里」 「農学書弘報」第2巻, 第1号, 1月号  
※「多肥農業」と日本資本主義 「経済評論」昭和26年2月号  
日本農業技術の発展のあとを顧みて(1) 「改良委員会だより」昭26.6.1, No.11  
※小野寺村べっ見記 「新農協情報」1951.6.1, No.51

- 経済学小辞典(所収)  
産業組合, 協同組合, 農産物商品化,  
食糧問題, 米価問題  
日本農業技術発展のあとをかえりみて  
(講演)  
岩波書店刊 昭26.6.20  
度会・山田農業協同組合長会発行  
昭26.6.5  
「東京大学学生新聞」1951.11.22, No.101  
「学生社会科学研究」収録第4号  
「地上」第5巻, 第11号, 11月号  
「地上」第5巻, 第12号, 12月号  
「農業朝日」1951.6月号  
「農山村」第2巻, 第11号, 2月号  
青木書店刊  
岩波書店刊  
「ダイヤモンド」臨時増刊 第3巻,  
第30号
- ※「二つの道」への無理解  
新しい農法への胎動  
脱穀調製機の発達とその背景  
インフレと農家経済(座談会)  
農業恐慌について(対談)  
※新訂農業問題入門(青木文庫版)  
危機における日本資本主義の構造(共著)  
わが生涯の佳き日・悪しき日  
1952  
農業政策の底を流れるもの(座談会)  
今年の日本経済を直視して  
新春対談1952年を語る  
小さいが気宇雄大な書  
——福島要一著「米」の書評——  
農業問題入門補論(増補)  
明治以降における農業技術の発達  
(共同執筆)  
主食管理制度は死なず消えて行くのみ  
※現代日本の政治と科学  
再軍備経済の現実(座談会)  
電力・肥料・五公五民  
日本経済の土台  
半封建関係を粉飾  
——まがいものの民主化政策——  
農業政策の行方(対談)  
社会改革なき農地改革  
「農業朝日」昭27.1月号  
「度会農協」1952.1.1.No.81  
「科学文化ニュース」1952.1.25 No.47.  
「図書新聞」昭27.3.3, No.134  
青木書店刊 1952.2.10  
農業技術協会刊, 昭27.3.10  
「度会農協」1952.4.10.No.83  
「思想」1952年, 第4号, No.334.4月号  
「改造」第33巻, 第7号, 5月号  
「中央公論」貧しさからの解放(所収)  
第67年, 第7号, 6月号  
「日本経済50の疑問」(所収)理論社刊  
1952年6月15日初版  
京大「学園新聞」1952.6.23, No.656.7  
「農業朝日」第7巻, 第7号, 7月号  
「農業委員会報」第2巻, 第6号  
農業委員会北海道連合会

xiv 立命館経済学（第22巻・第5・6号合併号）

- ※漁業における財政と金融〔総合分析Ⅰ〕  
「農業団体再編成」問題をえぐる  
今年の補正予算  
——景気を回復する予算というのは本当か——
- ※生きている村八分  
国民経済の分裂・解体
- ※地租改正と殖産興業  
選挙寸言
- ※六万円はもらったけれど  
試験研究機関における研究者の生態  
(座談会)
- 農政時評  
——ただひとすじに——
- ※戦後農地改革と半封建制  
10月選挙の結果を語る  
——政局の動向と農政の行方——  
私はこう思う
- ※佐渡の世捨人  
——牛馬耕にちなんで——
- ※農業と資本主義
- 1953  
経済的背景の考察  
「スターリン論文」における  
最高利潤と恐慌理論（座談会）  
1953年の農政をえぐる
- ※「計画」にならぬ「計画」  
——「食糧増産五カ年計画」を批判する——  
日本漁業の経済構造  
食糧増産と農政
- ※日本農政の底を流れるもの  
——農業委員会書記にのぞむ——
- 水産事情調査所プリント，昭27年4月  
「度会農協」1952.7.10. No.86  
「商工経済」第5巻，第8号，8月号
- 「新女性」第21号，1952，9月号  
「改造」第33巻，第14号，10月号  
河出書房刊，  
「日本歴史講座・第五巻」昭27.9.20  
「農業朝日」第7巻，第11号，11月号  
「婦人公論」昭27年11月号  
「農業技術」第7巻，第11号，11月号
- 「明るい生活」第1巻，第2号，11月号
- 「理論」季刊 19号  
「農村文化」第31巻，第12号，12月号
- 「地上」第6巻，第12号，12月号  
「農業技術」第7巻，第12号，12月号
- 理論社刊 1952年，12月5日刊  
「資本論の解明」，第5分冊
- 「改造」第34巻，第1号，新年号  
——ネオ・ファシズム特集——  
「経済評論」昭28年，1月号
- 「北方農業」第3巻，第1号，1月号  
「農業朝日」第8巻，第2号，2月号
- 近藤康男編東京大学出版会 1953.1.30  
「漁業に対する財政・金融」の項  
「時事通信」日刊農林水産版 28.2.4，  
第2171号  
「新しい農業」第8巻，第3号，3月号

- 「現代資本主義の基本的経済法則」  
について  
農業問題と今日の焦点（座談会）  
日本の青春のために（座談会）  
——戦後の青春の素顔——  
最大限利潤の理論的展開（シンポジウム）  
日本農政の底を流れるもの（転載）  
崩壊に瀕した日本経済とその出路  
（共同研究）  
農村補助金の問題点を衝く（座談会）  
※ヤミ米値上りにひそむもの  
——従属下財政経済政策の一露頭——  
これからの農村経済（座談会）  
——朝鮮休戦後の五つの問題点——  
中味は安物か  
——農産物価格安定法——  
数々の盲点を埋める  
——「近代日本農政の指導者たち」書評——  
※供米の詐術  
——「国民生活崩壊宣言」の内——  
※ 協同組合主義の幻想  
日本農業発達史（所収）  
——第一巻、第一章・第二章  
農地改革と地主制  
——農業問題の焦点——  
日本資本主義における農地改革の分析  
——封建論争前進への課題——  
（座談会）  
暗いMS A論議と明るい平和運動  
※当面する農政の展望  
農地改革と半封建制  
——Ⅳ.改革による地主制の再編成——  
植民地経済と農協（談）  
1954  
1954年の問題と生活（座談会）  
「理論」季刊 20号, 1953年3月  
「農林春秋」第3巻, 第3号, 3月号  
「婦人画報」4月号, 第584号  
「経済評論」4月号, 昭28年  
「北方農業」第3巻, 第5号, 5月号  
「改造」8月号, 第34巻, 第10号  
「村と共済」8月号, 第5巻, 第8号  
「経済往来」8月号, 第8号  
「農業朝日」8月号, 第8巻, 第8号  
「農大新聞」昭28.9.20 No.281  
「図書新聞」昭28.9.26 No.214  
「改造」11月号, 第34巻, 第13号  
「中央公論」11月号, 第781号  
近藤康男編「貧しさからの解放第三部」所収  
中央公論社刊  
「マルクス・レーニン主義・研究」1号,  
1953, 12  
「早稲田大学新聞」1953, 11.18 No.160  
「立教大学新聞」1953. 11. 20. No.102  
「北方農業」第3巻, 第9・10号  
「日本資本主義講座」Ⅴ巻, 岩波書店刊  
12月25日  
「全購連」1953. 11. 1. No. 9  
「婦人画報」1954. 1月号, 第593号

※ぐらつく食糧政策

農業問題関係書（書評）

- 東畑精一「日本農業の姿」馬場番之助「日本農業読本」A・J・グラット「日本の土地と農民」—  
「耐乏」の底にあるもの（座談会）

※農業史研究と民謡

暗い暴露と明るい分析

——私の極めて小さな経験から——

見事な資料の位置づけ

幕末と明治との連鎖に新境地をひらく

（庄司吉之助「明治維新の経済構造」書評）

農民収奪と農業危機

——Ⅵ「二つの道について」——

※中国米と民族の生存

二つの実態調査

——歴史的な経過を明らかにする——

福武直編「日本農村社会の構造分析」書評

赤島昌夫著「戦後東北農業生産力の展開」書評

日本資本主義の確立と農業

「農業朝日」2月号、第9巻、第2号

「図書新聞」昭29.1.30 第231号

「改造」3月号、第35巻、第3号

「図書」岩波書店、3月号、第54号

「四季報のしおり」第4集、1954.3.15

「日本読書新聞」昭29.5.3.744号

「日本資本主義講座」Ⅵ巻 岩波書店刊  
5月29日

「中央公論」10月号

「図書新聞」昭29.10.16. No.268

中央公論社刊、「日本農業発達史」  
第4巻、第一章

1955

飢餓と改憲

※蝸牛と隠し念仏

土地と農民と労働者（座談会）

植民地的隷属と半封建的土地所有制度

日本資本主義における農村問題と農業政策  
（山崎春成と共著）

近藤康男「第三貧しさからの解放」書評

土地は動く

ふたつの歴史

——ハチ公の飼主、上野英三郎教授のことから——

※経済学教課書は日本の農業問題研究に何を  
投ずるだろうか

「改造」昭30年、新年号、1955. No.36. 1号

「中央公論」新年号、第70年、第1号、  
696号

「学習の友」1955. 4月号 通巻第18号

「日本資本主義講座」Ⅹ巻 岩波書店刊  
2月15日

「政治学講座」Ⅱ巻、理論社刊 4月15日

「新潟日報」夕刊、昭30. 6月29日

「村と共済」第7巻 第8号

「農機具新聞」1955. 8. 9.

「経済評論」1955年9月号

- 日本資本主義の展開と農業  
農政の基本動向を衝く  
——井上晴丸氏をかこんで——
- ※近代経済学的農業研究批判
- ※農協の当面する課題  
——食糧統廃問題にふれて——  
農地改革をかえりみて  
農業  
——農業問題の理論的理解を深めるために——
- 農業経済学の入門書
- 1956  
寄生地主制（改訂増補版「経済学小辞典」）  
農業革命（「社会学辞典」）  
農業恐慌から戦争経済下の農業
- ※ホリドール殺鶏事件  
群馬県利根川沿岸における農業技術の  
普及過程（井上、山崎共同執筆）  
「批判」の学風  
過小農制（「日本歴史大辞典」）
- ※農地改革と民主主義革命の形態  
農業問題管見  
※農民を苦しめる余剰農産物  
——なぜ第三次輸入協定を急ぐか——  
農業経済学会第4会場における座長報告  
（昭和32年度）  
農民問題入門上・下（監訳）  
——レーニンはどう教えたか——
- 中央公論社刊、「日本農業発達史」  
第6巻、第一章  
「農村と都市を結ぶ」第5巻 第9号  
「マルクス-レーニン主義研究」第6号  
1955: 9月 筆名南間茂  
「農林金融」9月号 Vol.8, No.9  
「北方農業」第5巻 第9・10号（第42号）  
大月書店刊 1955. 10. 31  
「経済学講座」, 第5巻「従属体下の経済構造」の5  
「新読書」第183号, 昭30. 12. 17  
岩波書店刊  
有斐閣刊  
「日本農業発達史」, 中央公論社刊,  
第8巻, 第一章  
「機械化農業」1956年, 8月号  
農業技術協会刊 昭31. 3月  
「図書」9月号, 第84号  
河出書房刊  
山田盛太郎編「変革期における地代範疇」  
（所収）岩波書店刊, 9月27日  
「北方農業」第6巻, 第9号, 10月号  
「農業朝日」第11巻, 第11号, 11月号  
「農業経済研究」第28巻, 第3号  
アンナロチェスター著（南田健訳）  
理論社刊  
“Lenin on the Agrarian Question”, by  
Anna Rochester. 1942, New York.

1957

- ※資本蓄積と小商品生産 (宇佐美・井上共著) 「思想」1月号, No.391  
——日本資本主義構造論の再検討(その一)——  
高くて安いもの—おもちと経済—[談] 「子供のしあわせ」新年号, 第9号
- ※日本における資本蓄積と半封建制 (宇佐美・井上共著) 「思想」2月号, 392号  
——日本資本主義構造論の再検討(その二)——  
※独占段階における賃金と日本農業 「思想」3月号, 393号  
——日本資本主義構造論の再検討(その三)——  
※世界史的過渡期における農業問題 「経済評論」6月号, 1957  
——日本農業問題の再検討(1)——  
※日本資本主義の発展と農業及び農政 中央公論社刊 4月10日 初版  
“Japanese Farmers & the Land System”, April, 11, 1957  
——overseas broadcasting servie of N.H.K——  
[今日の農業]—独占資本(対談) 「地上」第11巻, 第10号  
(井上晴丸・高橋正雄・前田一) 「出版ニュース」1957, 5月中旬号・  
わが著書を語る 通巻378号
- ※耳の穴をほじくる話(第一話—トト—) 「地上」第11巻, 第11号  
農産物価格形成(農業経済学会討論会・記録) 「農業経済研究」第29巻, 第3号,  
1957年, 9月
- ※耳の穴をほじくる話(第二話) 「地上」第11巻, 第12号  
——とと, かか, かかァ——

1958

- ※耳の穴をほじくる話(第三話—イモ—) 「地上」第12巻, 第1号
- ※耳の穴をほじくる話(第四話) 「地上」第12巻, 第2号  
——ある婦人の追憶——
- ※耳の穴をほじくる話(第五話) 「地上」第12巻, 第3号  
——早乙女——
- ※日本農業と労働市場 「経済研究」第9巻, 第1号, 1958.1  
——現代日本資本主義の構造的特色からみた  
——農業問題把握の一環として——  
農協問題放談 「新しい農協」1958年3月号第1巻,  
第3号  
——万事単協を第一と心得べし——  
食糧増産政策はどこへ行った 「農業朝日」第13巻, 第6号, 6月号  
——農林省にも申す——

- 今後の農政は如何にあるべきか  
 ——N・H・K放送討論会速記録——  
 農業生産力の史的調査に関する理論と方法  
 (加藤惟孝氏と共同執筆)  
 1957～8年恐慌の性格 (座談会)  
 ——井汲、今井、小椋、水田、守屋氏と——  
 日本資本主義の構造的基礎 (座談会)  
 ——鈴木鴻一郎・楢西光速・堀江正規諸氏と——  
 日本における独占資本の構造と  
 労農提携の論理 (談)  
 御意見拝聴ゲスト 井上晴丸氏  
 [聞き手] 一楽照雄  
 経済学と歴史学の結び目 (座談会)  
 ——『土地制度史学』の創刊に際して——  
 (高橋幸八郎・宇高基輔・横山正彦・上  
 原信博氏らと)  
 農産物価格とこれからの農業 (談)
- 1959
- 尊徳の面白さはどこにあるか  
 ——奈良本辰也氏の好著『二宮尊徳』  
 に寄せて——  
 いわゆる「二重構造」の意味するもの  
 ——東畑精一還暦記念論文集  
 『経済発展と農業問題』所収——  
 ※マルクス地代論の理論的基盤  
 ——近藤康男還暦記念論文集  
 『日本農業の地代論的研究』所収——  
 A Century of Technical Development in  
 Japanese Agriculture  
 ※大原幽学 (講演)  
 「解題にかえて」  
 ——『明治維新と農業問題』——  
 ※月と稲刈り  
 お酉さま  
 ※河上肇の墓
- 「農政」8月号, 静岡県農業会議  
 農業技術協会刊 昭和33年3月  
 (プリント)  
 「講座・恐慌論Ⅱ」月報所載1958・7月  
 東洋経済新報社刊  
 「エコノミスト」別冊, 昭33.10.15  
 「農村と都市を結ぶ」10月号, 通巻90号  
 「新しい農協」1958・10月号  
 「図書新聞」第473号, 昭33.10.25  
 「平和ふじん新聞」33年11月7日  
 第292号  
 「図書」2月号, 第113号  
 岩波書店刊, 昭34.4.23  
 養賢堂刊, 昭34.3.30  
 Japan F. A. O. Association  
 「農業協同組合」第5巻, 8号  
 通巻54号  
 お茶の水書房刊, 昭34.9.10刊  
 明治史研究叢書第二期・第五巻所収  
 「アカハタ日曜版」1959.11.1  
 「 ” 」1959.11.29  
 「 ” 」1959.12.27

※農業生産力の特異性について

「日本農業発達史」別巻, 下, 所収  
中央公論社刊

1960

※農業政策 (第一分冊)

玄文社 1月刊プリント

※大鵬・岸・安保

「地上」第14巻, 4月号, 第4号

農業基本問題と農協の体質改善 (座談会)

「農業協同組合」第6巻, 4号, 4月号

——神谷・一楽両氏と——

日本農業と労働市場

「農村過剰人口論」所収

自由化は必要なのか

日本評論新社刊, 35年4月20日発行

——悪用させてはならない——

「中部日本新聞」昭35.4.19

近代日本農業技術史研究の断想

お茶の水書房刊 1960.8.10

農林行政の問題点 (談)

「明治維新の理論的諸問題」明治史研究  
叢書第二期・補巻Ⅱ所収

——農業基本問題と基本対策の批判——

全農林労働組合・1960.9, プリント

学会報告と討論 (農政の基調)

農村研究会討論資料(2)

マルクス地代論の理論的基盤

「農業経済研究」第32巻2号

「マルクス経済学論集」(所収)

農民削減案の本質

河出書房新社刊 昭35.10月15日

※農業技術の発展と農民

「立命館学園新聞」昭35.11.1 No.858

1. 「主体性」の前提たるべき個性の歴史性

中央公論社刊 昭35.10.25

2. 農業技術の発展

「経済主体性講座」第6巻, 歴史Ⅰ所収

1961

資本主義構造論 第1分冊

玄文社 1月刊プリント

寄生地主制研究の高嶺

「週刊読書人」昭36.1.30 360号

——山田盛太郎著『日本農業生産力構造』書評——

※戦後日本の農業制度の破綻

「立命館経済学」第9巻, 第6号

農業構造問題の世界史的位置づけ (転載)

昭36, 3月刊, プリント

※あの日の湯河さん

「日本経済の二重構造と農業発展に関する研究」報告書, 一般篇Ⅰ所収,

農協法制定の経過と問題点

「湯河元威君を偲ぶ」所収, 農民教育協会刊

「農協法の成立過程」所収,

1962

現代経済政策批判序説 第1分冊

協同組合経営研究所刊 1961.7.10

雄渾社, 1月刊, プリント

- 母親大会に学ぶ  
日本経済論
- 1963
- ※いわゆる「平均化原理」と「限界原理」  
——白杉理論への疑問——
- ※独占資本主義の確立
- 「近畿型農業の発展条件に関する研究」  
報告書  
——労働市場との関連を中心として——  
『総括ノート』
- 移りゆく農業
- 現代日本の農業問題  
——比叡山民主教教育夏季大学——
- 1964
- ※協同組合とマルクス主義  
——協同組合発展の歴史的弁証法——
- 高成長と日本経済の体質（座談会）  
——島恭彦・井上晴丸——
- 高度成長下の農業の命運
- 協同組合とマルクス主義（転載）
- 人生行路の節々
- ※Japanese Agriculture in the present Stage
- 1965
- 農林省よしっかりせい！（対談）  
——桑原正信氏と——
- ※「高度成長—開放経済」体制下の農業解体
- ※農業生産力
- 土地所有
- 「平和ふじん新聞」1962.9.6, No.489  
玄文社、プリント、10月刊、
- 「立命館経済学」第11巻、第5・6号
- 岩波書店「日本歴史講座」現代2、所収、  
3月刊
- 昭38、4月刊、プリント
- 読売テレビ放送  
テレビ大学講座テキスト、昭38.8.20  
「教育タイムス」713号 昭38.8.14
- 「立命館経済学」第13巻、第1・2号  
昭39.6月
- 「経済評論」第13巻、第11号、11月号
- 読売テレビ放送 昭39.12.15日発行  
テレビ大学講座テキスト(10)
- 「生協理論」創刊号 1964.12
- 「打越頭太郎」所収、打越頭太郎追憶編  
集委員会・家の光協会、昭39.11.29
- Contributions at the  
1964 Peking Symposium
- 「地上」第19巻、第3号、3月号
- 「農業経済研究」第37巻、第2号10月号、  
「体系農業百科事典」第V巻所収、  
農政調査委員会編刊、11.20
- 経済学辞典所収、大阪市大経済研究所編  
・岩波書店刊、1965.9.21

農業

—日本—

「経済学辞典」所収

1966

※消費と生産

「現代学問のすすめ」所収, 雄渾社刊

人間と社会 (対談)

「現代青年に訴う」所収, 雄渾社刊, 6月

※国家独占資本主義論についての覚え書

「立命館経済学」第15巻, 第3号

—池上惇氏の名著『国家独占資本主義論』を読んで—

※市民と歩んだ教室

「日本経済新聞」昭41. 8. 6

—千回迎える立命館土曜講座—

誇れ初志一貫の精神

「立命館学園新聞」昭41. 12. 8

—超満員だった1000回記念講演会—

マルクス主義協同組合の思想

「協同組合事典」所収, 家の光協会刊,  
昭41. 2. 20

寺の四季 (俳句)

「若鳩」創刊号立命館教職員組合・青年  
婦人部機関紙

1967

カール・マルクス「資本論」

「社会科学への道標」所収, 雄渾社刊,  
昭42. 4 補筆相沢秀一

※土地所有制度の歴史的形態

「体系農業百科事典」第Ⅵ巻所収, 農政  
調査委員会編刊, 1967年8. 20

協同組合論 (吉田忠と共筆)

“ ”

1968

※「私の思い出」…ある迷いのころ

「農業と経済」毎日新聞社・富民協会  
昭43年1月号,

※「研究所のあゆみ」…共同研究のセンターに

「研究日報」第3号, 立命館大学人文科  
学研究所 1968年7月

「戦争と平和」第1巻 (細野武男共編)

雄渾社刊 昭43. 6. 10

※日本経済の「成長」と軍事化

「戦争と経済」所収, 雄渾社刊 43. 7. 10

※経済の軍事化と日本経済 (対談)

「経済」1968. 10・No.54 新日本出版社

—島恭彦・井上晴丸—

小椋広勝教授を悼む

「立命館学園新聞」昭43. 12. 7

※訣別歌 (俳句)

「さんざし」第10集 昭和43. 9

1969

※小椋さんの死

「経済」1969年1月号, No.57

訣別歌

「井上照丸追悼集」所収

「冬を越す蕾」

Seminarist 1969. 17

- ※「経済学」への開眼を願う冗舌  
「経済学会会報」経済学会学生委員会編  
新入生歓迎号 昭44年
- ※「学問のすすめ」と「民主主義の窮極」  
追求とを  
〃
- ※70年と私  
立命館大学経済学会学生委員会機関紙  
創刊号 昭44.6.1
- ※続「70年と私」  
この人に聞く一農政の進路一  
同上—討議資料 昭47.10.3  
葬儀委員長をつとめて  
「全国農業新聞」昭44.9.26 (794号)  
京の秋・四国の旅(俳句)  
「小椋広勝さんを偲ぶ」所収 昭44.6刊  
衣笠山(俳句)  
「さんざし」第7巻,第1号,昭44年1月  
井上晴丸(立命館大学教授)にきく  
「〃」第8巻,第2号 昭44年6月  
発展を見通すきめ細かな政策に共鳴  
今月の訪問②  
日本資本主義と農業  
「前衛」No.302, 1969, 12月号  
——農政の転機にふれて——  
「赤旗」1969.12.12  
※筆者のことば  
「農業協同組合」1969, 12月号  
京の行事  
「〃」〃  
——附「久我山にて」——  
「文苑」13号, 1969.11.3刊
- 1970  
※クラス機関誌にまつわる思い出  
「井上ゼミナール機関誌」  
第3号, 1970.2.11
- ※「エノケン追憶」にちなんで  
学生委員会会報新入生歓迎号 立命館大  
「民主主義論」に及ぶ  
学経済学会学生委員会, 昭45 3  
大学生活を語る(座談会)  
「学園の虹」, 立命館大学生協同組合  
1970.4月
- ※思い出のあれこれ  
1970年 3.15 児玉誠編  
——大田遼一郎に献く——  
大田遼一郎全歌集「阿蘇」への附録に収  
載  
土地所有  
東畑精一監修「農業経済経営事典」農政  
調査委員会編 1970年9月30日 日本評  
論社刊  
武藤さんを悼む  
「学生新聞」1970.10.21 第389号  
三島事件—その思想的背景(対談)  
立命館大学新聞 1970.1.9.No.4  
——山口正之氏と対談——

xxiv 立命館経済学 (第22卷・第5・6号合併号)

労働と人間 (転載)

新編「現代国語」改訂版1.三省堂  
昭45.3.15刊 初版 (高校三年生用)

春寒 (俳句)

「群鳩」第25号, 1970年, 10月刊

1971

わだつみ像に平和を誓って

「立命館学園広報」1971.1.20

※農業恐慌の子

立命館経済学「学生委員会会報」昭46.3月

生活協同組合論集

生活問題研究所編 1970.3.5刊

「日本協同組合論」第1編・第1章・第5章  
(転載)

※社会の生活と自然

季刊「科学と思想」創刊号 1971.7 No.1

——自然の再生産と社会の再生産——

「現代社会」科学と青年の生きがい(座談会)

「立命評論」Vol.40

※読書の生理的習性化のために

「きぬがき」立命館大学経済学会

——夏休みの読書のすすめ——

学生委員会機関紙12号 (昭46.6月30日)

品角君の個展に寄せて

「品角一部」美術展'71.11月2日～7日

於 文化芸術会館 (河原町広小路)

「孫を看護」(俳句)

「高原」第23巻 第3号 昭46.3

「孫を看護」(俳句)

「高原」第23巻 第6号 昭46.6

1972

協同組合——その歴史のなかから

「労農のなかま」1972.6

[井上晴丸氏にきく]

本と人と

「赤旗」1972年6月10日

—立命館大学教授井上晴丸氏—

著述・講義・平和運動それに絵も……

井上晴丸著作選集 全六巻・別巻一, 雄渾社から刊行開始

「岬の春」

『健康』 昭和48年9月

「水笛と鳩笛と虫と」

『清水』 昭和48年10月